

個別事業説明書【PR版】

土 木 部

1 肱川水系緊急治水対策推進事業費

肱川水系の治水対策について、激特事業により従来の整備計画（平成16年5月）の目標を10年前倒しするとともに、平成30年7月豪雨を踏まえて見直した計画（令和元年12月）に基づく対策を、国と連携して緊急的・集中的に実施し、再度災害防止を図る。

お問い合わせ先
 土木部河川港湾局
 河川課
 (089-912-2670)

事業イメージ

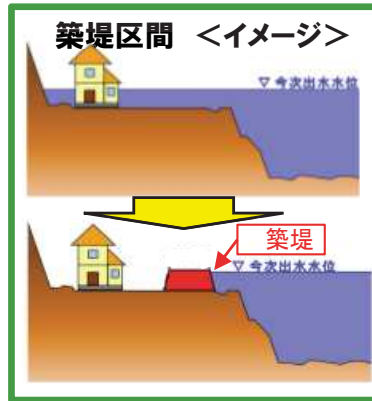
KPI 堤防整備完了で安全性が向上した工区数
 (激特事業の12工区はR5年度完了)

現状値 0工区(R4.12時点)
 目標値 全19工区(R10年度)



平成30年7月豪雨 肱川（大洲市 菅田地区）

浸水被害の解消



事業概要

激特事業（H16計画）291,194千円

- ・事業期間：平成30年度～令和5年度
- ・施工箇所：肱川（小倉工区、裾野工区、追打下流工区）

久米川

- ・事業内容：築堤工、用地補償
- ・負担区分：国5.5/10 県4.5/10

新たな計画分（R元計画）911,988千円

- ・施工箇所：肱川（柚木工区等6工区、野村地区）
- 〔逆ナゲ橋架替え（菅田・村島工区）〕
- 〔野村大橋架替え（野村地区）〕

- ・事業内容：築堤、樋門、橋梁、用地補償
- ・負担区分：国1/2 県1/2

直轄負担金（激特分のみ）1,390,500千円

- ・施工箇所：肱川（玉川地区他）
- ・事業内容：築堤、護岸、用地補償
- ・負担率：県0.9/3



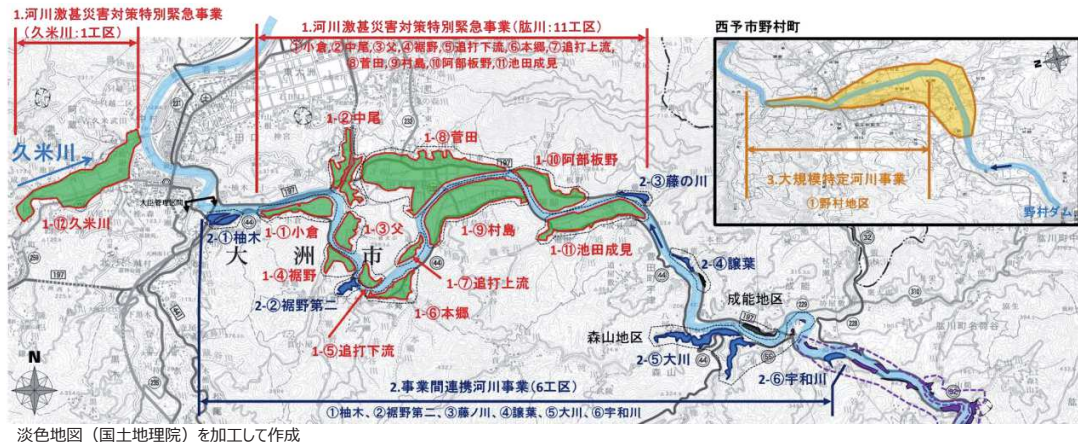
肱川（追打下流工区）



肱川（野村地区）



逆ナゲ橋（菅田・村島工区）



2 山鳥坂ダム建設費負担金

肱川流域は、洪水により頻繁に浸水被害が発生していることから、流域全体で行う複合的な対策の一つとして、流域の治水安全度の向上を図るため、国が行う山鳥坂ダム建設事業への負担金を支出する。

お問い合わせ先
 土木部河川港湾局
 河川課
 (089-912-2670)

事業イメージ



事業進捗率(事業費ベース)

現状値 39.7%(R3年度)
 目標値 65.8%(R8年度)

事業概要

○治水

過去にも浸水被害が頻発しており、平成30年7月豪雨では、大洲市全域で甚大な被害が発生



○利水

平素の河川流量の減少が課題であり、動植物の生息や生育、景観等に必要な正常流量の確保が必要

○事業内容

- ① **工事費** 仮排水トンネル(転流工)工事、工事用道路工事等
- ② **測量設計費**
 ダム本体にかかる地質調査・設計及び地すべり観測等にかかる費用
- ③ **用地費及び補償費** 用地買収や付替県道等の補償工事にかかる費用

○負担率 国7.35/10 県2.65/10

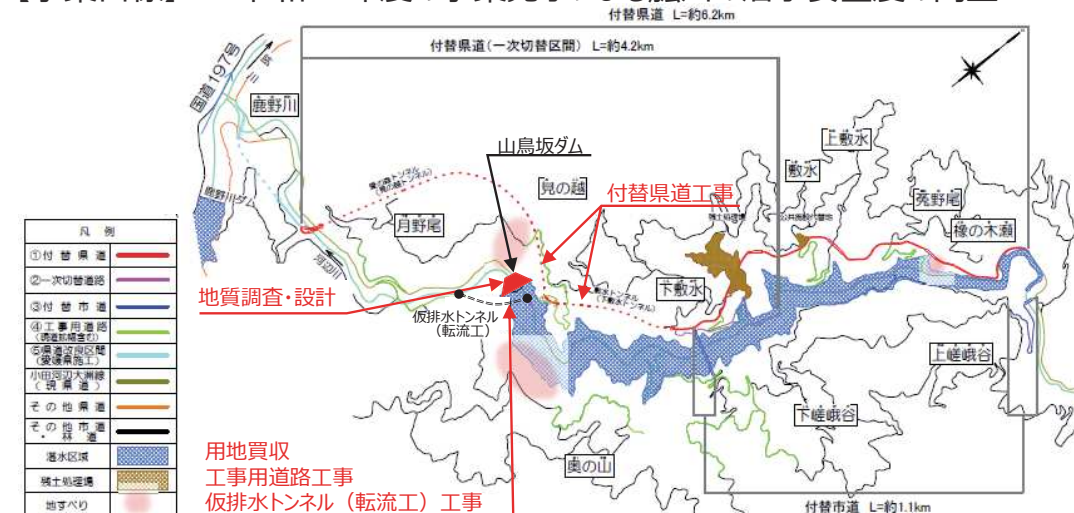
【事業目標】 ・令和14年度の事業完了による肱川の治水安全度の向上

洪水調節、流水の正常な機能の維持のために山鳥坂ダムを建設



事業工程	工種	年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
本体関連	転流工(仮排水トンネル)													
	ダム本体基礎掘削工													
	ダム堤体コンクリート打設													
補償関連	試験湛水													
	付替県道	一時切替												
		二次切替												

出典：山鳥坂ダム工事事務所 ダム事業費等監理委員会資料を一部加工



3 県単独緊急防災・減災対策事業

切迫性が増している「南海トラフ地震」や近年、激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、県民の安全・安心を確保するため、避難道路や河川、砂防施設等の整備を行う県独自の防災・減災対策を積極的に推進する。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局 道路建設課 (089-912-2710)
 道路維持課 (089-912-2720)
 土木部河川港湾局 河川課 (089-912-2670)
 港湾海岸課 (089-912-2690)
 砂防課 (089-912-2700)

事業イメージ KPI 右表のとおり

現状・課題

南海トラフ地震
 発生確率70~80%
 (30年以内)



南海トラフ想定震源域



(一) 肱川(西予市) 平成30年7月7日

対策のイメージ

○南海トラフ地震等に備えた交通網の整備

県管理道路の法面対策

○命を守る土砂災害対策の推進

砂防設備、地すべり防止施設等の機能維持など

○洪水に強い人命・財産を守る川づくり

治水対策、堤防補強等の地震・津波対策

○津波や高潮に強い海岸づくり

防波堤、岸壁等の海岸保全施設の機能強化

事業概要

事業番号	予算事項名【課名】	R5当初予算 要求額(千円)	事業の内容	KPI	
				現状値	目標値
1	地震防災関連道路緊急整備事業費【道路建設課】	1,084,000	緊急輸送道路などの県管理道路の改築(国)380号(内子町)など82箇所	二次緊急輸送道路の改良率	85.6% (R3年度) 86.6% (R8年度)
2	道路防災・減災対策事業費【道路維持課】	892,400	原発避難道路等の法面対策や路面補強など(国)197号(伊方町)など118箇所	防災点検における要対策箇所の解消率	69% (R3年度) 74% (R8年度)
3	ダム貯水池保全緊急対策事業費【河川課】	300,000	洪水調節容量内に堆積する土砂の撤去 鹿森ダム	洪水調節容量内の堆砂除去の進捗率	— 16.0% (R5年度)
4	河川地震防災強化対策事業費【河川課】	372,650	機能低下箇所や重要水防箇所の護岸等の改修(二)海岸寺川(四国中央市)など60箇所	重要水防箇所解消率(H30年度末比)	10.2% (R4年度推計) 19.3% (R1~8年度)
5	河川堤防強化緊急対策事業費【河川課】	100,000	堤防決壊等の危険箇所における堤防補強など(一)肱川(西予市)など8河川	対象区間の堤防補強等整備率	36% (R3年度) 100% (R3~7年度)
6	河川防災緊急対策事業費【河川課】	203,000	重要水防箇所等の河床掘削(二)長尾谷川(松前町)など37箇所	土砂堆積箇所実施率(事業費ベース、年間)	72% (R3年度) 70%以上 (R8年度)
7	流域治水対策推進事業費【河川課】	113,000	市と連携した治水対策の推進(二)蒼社川(今治市)など5河川	対象3箇所のボトルネック解消工事進捗率	19% (R4年度見込) 100% (R4~6年度)
8	海岸施設防災・減災対策事業費【港湾海岸課】	297,000	浸水被害防止のための水門・陸閘等の補修 藤原海岸(四国中央市)など20箇所	海岸保全施設の補修進捗率	26.5% (R4年度見込) 42% (H30~R8年度)
9	港湾施設防災・減災対策事業費【港湾海岸課】	245,000	防波堤や浮桟橋等の港湾施設の補強、改良 宇和島港(宇和島市)など20箇所	港湾施設の補修進捗率	27% (R4年度見込) 81% (R3~8年度)
10	集落・避難路保全斜面地震対策事業補助金【砂防課】	335,500	市町が行うがけ崩れ防災対策事業の補助 嵯峨野(四国中央市)など32箇所	本事業によって保全される人家戸数(年間)	32戸 (R4年度) 37戸以上/年 (R8年度)
11	砂防施設防災・減災対策事業費【砂防課】	474,100	砂防設備、地すべり防止施設等の機能維持など 中の谷川(西条市)など52箇所	要対策箇所の修繕率	28% (R3年度) 52% (R1~8年度)
合計		4,416,650			



除石工



4 カーボンニュートラルポート形成計画策定事業費

2050年カーボンニュートラル宣言を受け、国土交通省では、カーボンニュートラルポート（CNP）を形成し、脱炭素社会の実現に貢献することとしており、その一環として、県が管理する重要港湾4港（三島川之江港、東予港、松山港、宇和島港）において、カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画を策定する。

お問い合わせ先
土木部河川港湾局
港湾海岸課
(089-912-2690)

事業イメージ



対象4港湾の計画策定進捗率

現状値	-
目標値	100%(R5年度)

事業概要

【カーボンニュートラルポート（CNP）】

- 水素・アンモニアなどの新エネルギー受入環境や脱炭素化に対応した能力を持っている港湾を中心とした地域の面的な脱炭素化

【事業経緯】

- 港湾は、製紙工場・繊維工場・発電所など我が国のCO₂排出量の約6割を占める産業が周辺臨海部に立地
- これらが使用する資源・エネルギーのほぼ全てが港湾を経由するなど、脱炭素化を進める上で港湾の取組は重要

【事業効果】

- 港湾及び立地企業それぞれにおいて、環境面での競争力強化につながり、航路誘致や企業価値向上が図れる。



出典：第5回四国におけるCNP形成に向けた勉強会資料



1. 対象港湾：三島川之江港、東予港、松山港、宇和島港
2. 負担区分：国1/2、県1/2（R4支援制度創設）
3. 事業内容

【エネルギー供給サイド：港湾管理者】

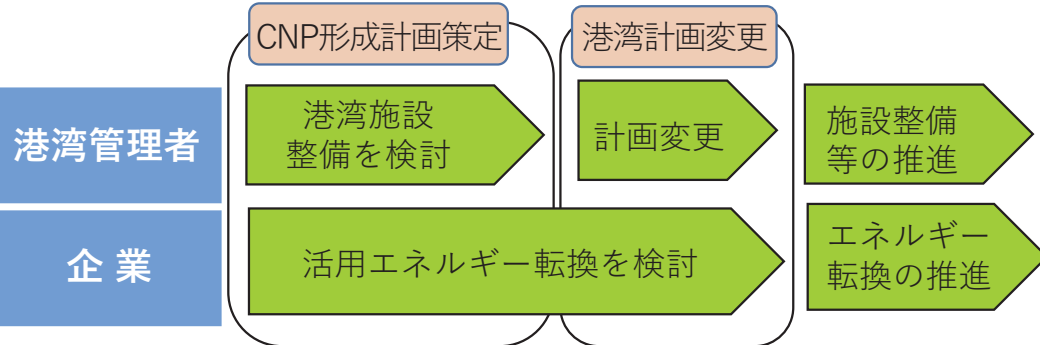
- 水素、燃料アンモニア等の輸入などのため、港湾施設として岸壁や貯蔵施設用地等の整備を計画

【エネルギー利用サイド：①港湾利用企業】

- 港湾荷役機械など港湾運営に関わる脱炭素化を計画
※トラック等の水素燃料化、船舶への陸上電力供給

【エネルギー利用サイド：②港湾周辺立地企業】

- 活用エネルギーの転換による脱炭素化を計画



5 地域高規格道路大洲・八幡浜自動車道整備事業費

大洲・八幡浜自動車道は、四国8の字ネットワークに直結し、地域産業の活性化や観光振興などを支援する「地方創生の道」であるほか、大規模災害発生時の「命の道」となるもので、自動車専用の高規格道路として整備を行う。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 道路建設課
 (089-912-2710)

事業イメージ	KPI 大洲・八幡浜自動車道の整備率	現状値	53%(R3年度)
		目標値	63%(R8年度)



事業概要

<事業計画> (千円)

工区名	箇所	事業費	主な事業内容
夜昼道路	大洲市 ~八幡浜市 L=4.2km	1,083,157	切土法面工、橋梁下部工・上部工、抑止工、用地補償
大洲西道路	大洲市 L=3.3km	290,526	地質調査、道路・橋梁詳細設計、用地測量、用地補償
計		1,373,683	工事費負担割合：国5.5/10 県4.5/10

<債務負担行為> (千円)

	夜昼道路	
	①新千丈川橋(仮称) L=150.5m 〔八幡浜東IC付近 本線橋〕	②大根第二橋 L=167m 〔大洲平野IC オンランプ橋〕
全体工事費	1,390,000	560,000
R5年度歳出予算	100,000	50,000
債務負担行為(2か年度) (R6~7年度)	1,290,000	510,000

6 J R松山駅付近連続立体交差事業費

J R松山駅を中心とした約2.4km区間を高架化し、駅周辺の市街地分断や、踏切遮断による交通渋滞の解消を図るとともに、松山市が行う土地区画整理事業や周辺街路事業と一体的に整備することで、にぎわいと活力あるまちづくりを目指す。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 都市整備課
 (089-912-2745)

事業イメージ

KPI 付近8箇所の通勤、通学等における踏切待ち時間

現状値 1,111分/日(R2.1時点)
 目標値 0分/日(R6年度)

事業概要

実施期間 H21～R6年度

R5年度事業費

(1) 高架本体	6,594,736千円	高架橋工事、駅舎新設工事 軌道工事（鉄道線路新設） 機械設備工事（給油装置等） 電気設備工事（電柱等） 水文調査（地下水調査） 騒音振動調査（工事の影響調査）
(2) 高架側道	252,998千円	橋りょう工事（宮前川） 水路工事（側道用地境界部等）

	R4	R5	R6	R7	R8
高架事業 (H21～)					
駅舎工事 (R4～)					
側道事業 (H21～)					
土地区画整理事業 (H20～)					

- ① 渋滞・事故の解消
 鉄道高架に伴う、8箇所の踏切除却により、交通渋滞、踏切事故の危険性が解消され、幹線街路の整備により、交通の円滑化が図られます。
- ② 地域分断の解消・駅西地区の活性化
 鉄道の高架化と西側駅前広場の新設による駅西側から松山駅への直接アクセス、駅前広場の一体利用、路面電車の延伸及び停留所の移設による松山駅での乗換えなどが便利になり、幹線道路整備とあわせて交通結節点としての利便性・快適性が格段に向上します。
- ③ 安全・快適な施設利用
 駅舎を新設し、バリアフリー化することにより、安全で快適な施設利用と、駅機能が強化されます。
- ④ 県都の陸の玄関の刷新
 車両基地・貨物駅の移転と併せて土地区画整理事業を実施することにより、駅周辺や隣接する地区の土地の高度利用と、県都にふさわしい魅力ある陸の玄関が形成されます。



7 とべもりエリア交流拡大推進事業費

とべもりとえひめ森林公園が新たに連携し、従来の取組に加え、スイーツを切口とした広報を行うと共に、SDGsの視点からのPRを実施し、施設間の周遊の円滑化と活性化を図る。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 都市整備課
 (089-912-2745)

事業イメージ



とべ動物園と総合運動公園の年間入園者数
動:R9年度に60万人(中四国で一位)を達成可能なR6年度の目標値
 55万人を設定、運:コロナ前のR1年度水準56.4万人に回復

現状値 74.6万人(R3年度)
 目標値 111.4万人(R6年度)

とべもりとえひめ森林公園が新たに連携し相乗効果を図る



とべ動物園



えひめこどもの城



総合運動公園



えひめ森林公園

◆スマホアプリ
とべもりNavi
 手のひらで
 気軽に4施設の
 情報収集が可能。



◆とべもりSDGs
体験イベント
 とべもり施設の
 SDGsの取組を
 体験を通じて紹介。



◆とべもりイルミ
ネーション
 とべもりの冬の
 風物詩。
 4施設で同時期
 に実施。



◆とべもり×スイーツ
 「とべもり」を
 テーマにした
 スイーツコンテスト
 を通じて認知度
 向上を図る。



事業概要

【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】

【周遊の円滑化】

1 スマホアプリとべもりNaviの機能拡張【拡充】 **4,734千円**
 とべもりへの森林公園の加入に伴い、森林公園の情報も見られるように機能拡張。各施設のイベントが検索できる機能を追加。

【周遊の活性化】

1 とべもりイルミネーションの実施【拡充】 **8,380千円**
 とべもりの4施設において同時期にイルミネーションを実施。一元して広報を行う事で、施設間の周遊の活性化と誘客の拡大を図る。

2 とべもりSDGs体験イベントの実施【拡充】 **8,417千円**
 R4年度に作成したSDGsプログラムの認知度向上のための体験イベントを実施。

3 とべもり×スイーツ【拡充】 **6,487千円**
 とべ動物園で販売開始したスイーツを契機として、「とべもり」をテーマにしたスイーツコンテストやPRを実施。募集・審査・結果発表等の各段階においてとべもりの魅力を幅広い層に向けて発信し、新たな来園者層の獲得に繋げる。

【その他】とべ動物園でワーケーション【継続】 **383千円**
 コロナ禍における働き方の多様化に対応するため、とべ動物園におけるワーケーションプランを提供する。

8 とべ動物園の将来を見据えた魅力向上事業

子ども人口の減少やコロナ禍による来園者数の減少に対応するため、Webを活用したマーケティング、国外・県外からの旅行者誘導や魅力ある獣舎の整備・各種誘客イベント等の実施により、来園者数の増加を目指す。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 都市整備課
 (089-912-2745)

事業イメージ

KPI	年間入園者数 〔R9年度に60万人(中四国で一位)を達成可能な R6年度の目標値を設定〕	現状値	35.6万人(R3年度)
		目標値	55万人(R6年度)

事業概要

【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】
 【とべ動物園魅力向上基金充当事業】

【現状】

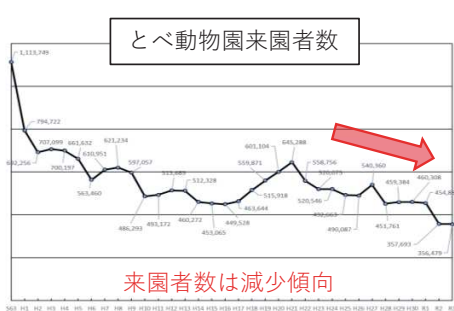
【問題点】

- ・平日、冬季の来園者減少
- ・子ども人口減少等による来園者減少

【誘客策実施】

【対応】

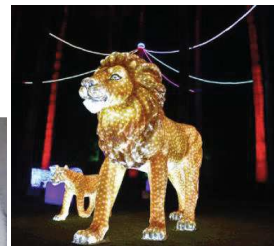
- ・魅力ある獣舎への改築
- ・誘客イベント等の実施
 (イルミネーション、キャンプなど)



【サル・ヒヒ舎の改築】



【冬季：イルミネーション】



※その他 Webによる情報発信などを実施

【目標】

魅力向上のため『とべ動物園まじめ行動計画』を策定し、
 全体計画：令和元年度～令和9年度

- 第1期：令和元年～令和3年 目標入園者数 50万人
- 第2期：令和4年～令和6年 目標入園者数 55万人
- 第3期：令和7年～令和9年 目標入園者数 60万人

計画終期（令和9年度）の入場者数目標を60万人としている。

【令和5年度の内容】

- とべ動物園施設整備費 90,527千円
 《サル・ヒヒ舎新築工事に伴う仮獣舎改築、サル舎解体》
 新サル舎建築に必要なサルの仮獣舎（一時避難所）の改築
 仮獣舎へのサル避難後の現サル舎を解体
- とべ動物園展示動物等購入費 91,524千円
 《動物の購入》
 飼育動物数減少対応のため、市場の動向を踏まえながら、とべ動物園の独自性をいかした動物を購入
 《医療器具の購入》
 動物の健康管理強化等に必要な医療器具の購入
- とべ動物園魅力向上戦略推進事業費 33,356千円
 《とべZOOイルミネーション2023》6年目を迎える定番イベント
 《夜の動物園キャンプ》昼とは違う動物園を楽しむ1泊2日のキャンプ
 《Webによる情報発信（4施設連携）》

など

10 南レク公園魅力向上推進事業費

令和4年度に初開催し好評を得た「宇宙」に関連するイベントの開催や、コロナ禍で需要が高まっているアウトドアに関連した事業を実施し新たな客層の取込みにより来園者の増加を図る。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 都市整備課
 (089-912-2745)

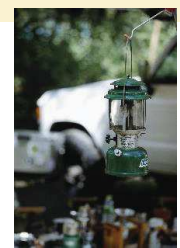
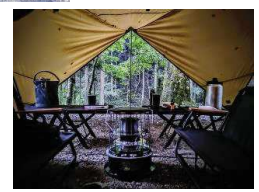
事業イメージ	KPI	南レク第1号公園の年間利用者数	現状値	8.6万人(R3年度)
		(コロナ前(H30年度:13.3万人)の6%増を目指す)	目標値	14.1万人(R5年度)

事業概要 【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】

課題	来園者の増加に向け、新たな客層を取り込む	
現状	アウトドア志向の高まり ぎずな博開催 「宇宙」に関する新たな活用法	
南レクの強み	<ul style="list-style-type: none"> キャンプ初心者、女性、子供が安心して利用できる施設（清潔、便利、安全） 美しい景色 	成層圏気球実験に適した立地条件
解決策	レンタル品の拡充 ・SNS映えするキャンプ用品 ・最新のキャンプ用品	気球共同実験に合わせて宇宙イベントを開催
効果	<ul style="list-style-type: none"> 他施設との差別化 新しい客層への宣伝効果 キャンプを始めるキッカケ 	交流人口を増加させ、南予地域の活性化を図る。

- 宇宙イベント「宇宙フェスinなんよ」の開催 1,300千円**
 成層圏気球共同実験の実験期間に合わせて一般公開イベントを実施
 - モデルロケット教室
 - ペットボトルロケット教室
 - 大学生による実験体験ワークショップ
 - 宇宙に関する講演
 - 飲食物販ブース
- 南レクオートキャンプ場レンタル品の拡充 1,700千円**
 南レクオートキャンプ場と親和性の高い「初心者」「女性」「こども連れ」に人気のあるキャンプ用品をレンタル品として提供し、新しい客層の取込みに繋げる。

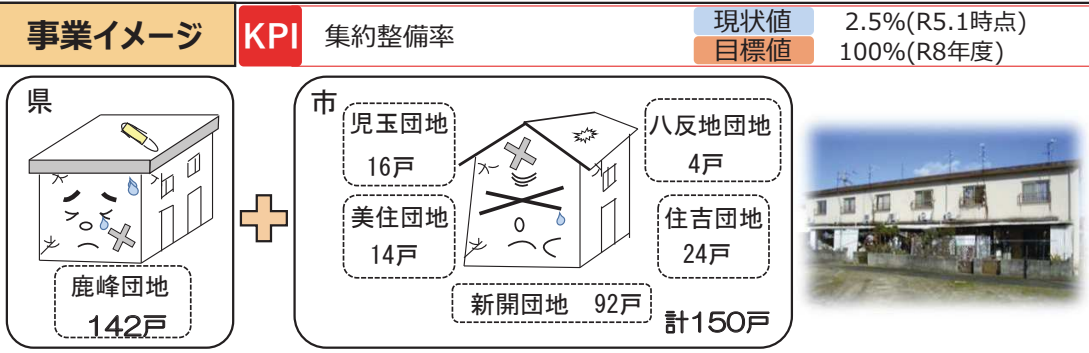
(レンタルセット案)
 ・クールギアで日帰り焚火セット
 ・ページュキャンプで女子セット
 ・あこがれグリルで日帰りBBQセット
 ・ハンモック付きリラックスセット
 など



11 公営住宅（北条地区）集約整備事業費

愛媛県と松山市が連携することにより、松山市北条地区内にある老朽化等が著しい県営住宅鹿峰団地（S42～45年度建設）と市営住宅5団地（S35～41年度建設）の集約建替事業を実施する。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 建築住宅課
 (089-912-2755)



事業概要

- 敷地**
市営住宅新開団地（松山市北条辻）
- 構造・階数等**
鉄筋コンクリート造8階建て2棟118戸（集会所共）
（1期：62戸+集会所、2期：56戸）
- 事業費**

R5年度実施分	1期工事建設費	942,472千円
	2期工事の設計委託費等	43,264千円
	既存入居者移転費	1,404千円

<事業の全体スケジュール>

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
設計等	1期工事分		2期工事分		解体工事分	
建設工事		1期工事分		2期工事分		
移転	他公営住宅等への移転		1期移転			2期移転
解体工事						

鉄筋コンクリート造8階建て2棟118戸



12 県営住宅共用部電灯LED化事業費

令和5年度当初予算（案）
予算額 77,936千円

2050年カーボンニュートラル（脱炭素社会）を見据えた県営住宅における省エネルギー化の推進を図るため、共用部電灯（外灯、共用廊下灯、自転車置場灯など）のLED化改修を進める。

お問い合わせ先
土木部道路都市局
建築住宅課
(089-912-2755)

事業イメージ

KPI	県営住宅共用部電灯のLED化率 ※今後建替予定等の住宅を除く	現状値	-
		目標値	100%(R8年度)



事業概要

- 対象県営住宅
43団地 4,722戸
- 事業期間
R5~8年度（4年間）
- 事業費
R5年度実施分 77,936千円
・調査・基本設計委託費 6,782千円
・LED化工事請負費等 71,154千円

<事業の全体スケジュール>

	R5	R6	R7	R8
調査・設計等	➡			
LED化工事	➡	➡	➡	➡

効果

- 消費エネルギー量・CO2排出量の削減による県における省エネルギーに対する取組の推進
→ **消費エネルギーの縮減！！**
- 県営住宅入居者が負担している共益費（電気代）負担の軽減
→ **入居者負担額の縮減！！**
- 電灯部（球）の高耐久化による入居者が負担する球交換負担の軽減
→ **高齢化が進む入居者の安全確保！！**





13 建設業魅力向上緊急対策事業費

令和5年度当初予算(案)
予算額 6,096千円

本県の基幹産業の一つである建設業に対する支援の方向性をまとめた「魅力あふれる建設産業づくりアクションプログラム(現計画期間:令和3~5年度)」の取組みを加速化し、産業としての魅力を高めることで、県内建設業就業者を確保し、もって県内人口の下支えを図る。

お問い合わせ先
土木部土木管理局
土木管理課
(089-912-2640)

事業イメージ

KPI 県内建設業に就職した若者(県内高卒就職者)の割合
(県内建設業就業者数ピーク時の割合(H11年度卒:9.1%)を上回る水準の継続)
現状値 7.9%(R1~3年度平均)
目標値 9.5%(R5年度)

現状

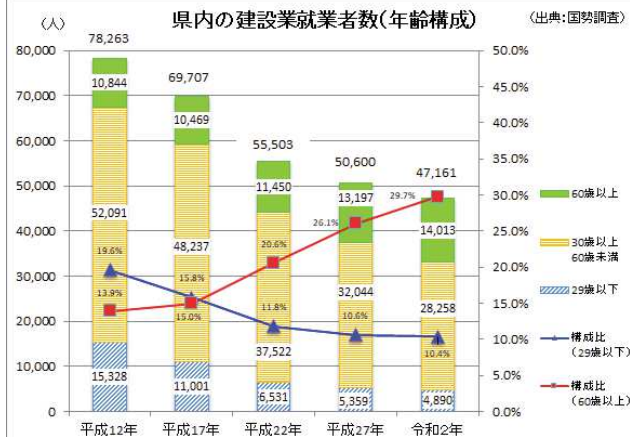
担い手の急激な減少と高齢化

対策

魅力(就業者の処遇)向上
に対する経営者の意識啓発・
情報発信

「新3K」推進

給料が良い
休暇が取れる
希望が持てる



事業概要

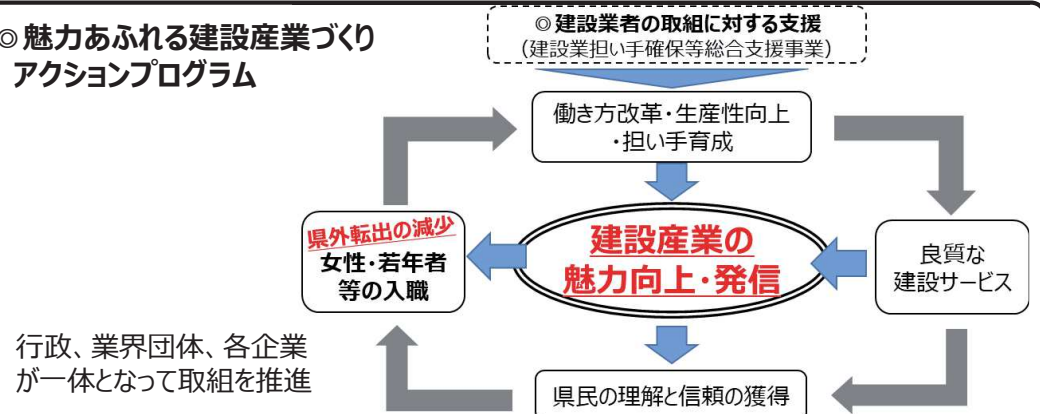
1 魅力向上事業 4,500千円

- (1) 「えひめの建設業 魅力向上ガイドブック」作成
建設業者が魅力ある職場環境を作るためのガイドブック(電子データ)を作成する。
- (2) 「えひめの建設業 魅力向上セミナー」開催
ガイドブックを活用し、建設業者向けのセミナーを県下3会場(東・中・南予)で開催する。

2 担い手確保事業 1,596千円

- (1) 動画制作・配信 3本程度
- (2) ひめ建新聞作成・配布 25千部(県内公立中学1・2年生)
- (3) 建設産業魅力発信展示・体験会 すごいもの博出展

◎魅力あふれる建設産業づくりアクションプログラム



◎建設業担い手確保等総合支援事業 19,170千円

- (1) 総合情報発信事業(相談窓口・HP・メルマガ)
- (2) 地域の守り手力強化事業(生産性向上及び人材確保への取組に対する補助)
- (3) 担い手育成事業(技術検定試験準備講習会への補助)

14 久万高原庁舎整備事業費

お問い合わせ先
土木部土木管理局
土木管理課
(089-912-2640)

久万高原庁舎は耐震診断(H28実施)の結果、震度6強の地震で倒壊する危険があることが判明した。また、築55年が経過していることから、施設、設備ともに老朽化が著しく修繕に耐えないため、取壊しの上、現庁舎跡地で新築建替えを行う。

事業イメージ

KPI 工事進捗率

現状値 -
目標値 100%(R7年度)

★新しい久万高原庁舎の設計方針 ～目指す姿～

- (1) 庁舎の木造化と防災拠点機能の維持
- (2) C L Tを活用したシンボリックな庁舎
- (3) カーボンニュートラルへの貢献



新庁舎（イメージ）

事業概要

【県有施設更新整備基金充当事業】

- 1 新庁舎建設事業費 51,366千円**
令和5年度においては、現庁舎の取壊しに着手する。
- 2 庁舎移転等経費 51,021千円**
現庁舎の取壊しに伴い、仮庁舎(NTT久万交換所)の賃貸借や引っ越しを行う。

〔債務負担行為限度額 912,290千円〕

新庁舎建設事業費について、令和6～7年度分に対する債務負担行為を設定する。

★整備スケジュール

